

平成 29 年度 目標設定

神奈川県立住吉高等学校

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①生徒の進路選択に適合する教育課程を編成し、組織的な授業改善に取り組む。 ②論理的思考力や他者と協働した問題解決能力を身につけさせる授業を実践する。	①生徒のニーズに対応できる教育課程を編成するとともに、組織的な授業改善に取り組む。 ②情報科及び総合的な学習の時間におけるプログラミング教育を推進する。	①教育課程の改訂。 ①同僚性を発揮して、授業力の向上を図る。 ②情報科及び総合的な学習の時間におけるプログラミング教育を推進する。	①生徒のニーズに対応できる教育課程の改訂ができたか。 ①教員相互の授業見学数。 ②情報科及び総合的な学習の時間において、論理的思考力や他者との協働による問題解決能力を育成できたか。
2	生徒指導・ 支援	①生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。 ②生徒が自己肯定感を向上させ、コミュニケーション能力を身につけられる指導を実践する。	①生徒一人ひとりの状況を把握し、必要な支援を行う。 ②生徒が様々な人と関わることで、社会性を身につけ、自己肯定感が向上するよう支援する。	①個別指導計画を活用し、必要に応じて教育相談コーディネーターを中心にスクールカウンセラー等との連携を図る。 ②部活動、ボランティア活動等の活性化を図る。	①個別指導計画を有効に活用できたか。 ②ボランティア活動への参加生徒数。
3	進路指導・ 支援	生徒が自ら進路目標を設定し、自主的に準備に取り組めるよう進路指導の充実を図る。	生徒が主体的に自らの進路選択とその実現ができるような指導を充実させる。	生徒が主体的に進路選択ができるよう適切な情報提供と、個別面談、ガイダンス等を行う。	魅力と特色ある県立高校づくりアンケートにおけるキャリア教育の成果。
4	地域等との 協働	地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。	地域との交流の場とおして、生徒の自己肯定感を高めるとともに、地域に開かれた学校として、地域との信頼関係を築く。	地域のイベントや交流の場に参加するとともに、学校の教育活動を広く公開する機会を設ける。	地域との交流活動に参加した生徒数。
5	学校管理 学校運営	すべての職員が教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。	育てたい生徒像の共有化を図るとともに、協働して課題に対応していく体制をつくる。	課題解決と協働性を養うための研修を実施する。	課題解決のために有効な研修を実施できたか。